

一般社団法人日本内分泌外科学会 理事長
杉谷巖先生

いつも大変お世話になっております。ジャパンハート・ラオス 看護コーディネーターの関山です。この度は、Phase 2 延長期間の活動に向けた医師募集について、ご対応いただきありがとうございます。

募集開始にあたり、今回の延長期間で目指していることについて、医療面から少し補足させていただければと思います。

Phase 2 の3年間を通して、ウドムサイ県病院では、適切に症例を選択すれば現地チームのみで片葉切除を実施できる段階まで、着実に技術移転を進めることができました。

延長期間では、さらに難しい手術を現地のみで行えるようにすることを目指すのではなく、ウドムサイのチームだけで安全に対応できる症例と、日本の専門医の支援が必要な症例をウドムサイ医療チーム自身が適切に見極め、術前から術後までを含めた安全な診療体制をより確実に定着させていくことを目指しています。

また、外科だけでなく、症例選択や術前の甲状腺機能のコントロール、術後の内服調整やフォローアップなど、内科医の役割も非常に重要であると感じています。

そのため延長期間では、外科・内科ともにこれまでよりミッションの回数を増やし、先生方に現地で一緒に診療いただきながら、指導・相談できる機会をこれまで以上に設けられればと考えています。

参加いただく先生方については、前年度と同様、これまでご参加いただいた先生方に引き続きご協力いただきながら、新たにご応募くださる先生についても、参加経験のある先生と一緒に活動いただけるよう調整していきたいと考えています。

これまで活動が続ける中で、学会からご参加くださった先生方が、ミッション期間中だけでなく、その後もウドムサイの診療に心を寄せてくださり、現地医師が診療で困った際には快く相談に乗ってくださることを、本当にありがたく感じています。

そのように継続して相談できる先生方がいることは、日々診療を担うウドムサイの医師たちにとって大きな支えとなっており、甲状腺診療への関心や、より良い診療を目指す意欲を維持していくことにもつながっていると感じています。

これまで長期にわたり、多くの先生方にご協力いただいておりますこと、改めて心より御礼申し上げます。

延長期間の1年間も、これまで積み重ねてきたものをウドムサイの診療としてより確実に定着させられるよう、取り組んでまいりたいと思います。

引き続き、ご指導、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

ジャパンハート・ラオス
関山 弘子